

神奈川県原水協通信

ちひろカレンダー4500本突破

5000本やりきるため最後までがんばろう！

全県の団体・地域原水協のみなさんの奮闘で、ちひろカレンダーの普及は、昨年実績を超え4500本を突破しました。みなさんの奮闘に敬意を表します。

2013年以来、徐々に減り続けていたちひろカレンダー普及ですが久し振りに普及増に転じ、2014年以來の普及増となりました。

あと10日間となった2018年、最後まで諦めずにカレンダー募金含め5000本普及を達成がんばりましょう。

“フクシマをわすれないところ”を募金に寄せて

これからは、カレンダーの「あと1本、2本を」の普及とともに、「被災地ちひろカレンダー贈呈募金」に全力をあげましょう。困難な中で復旧・復興にがんばっている東日本大震災・原発事故被災者のみなさんに1本でも多く届けられるように募金にご協力ください。

カレンダー募金は年末まで取り組み、募金の集約は、1月末までとします。がんばりましょう。

被爆者年末募金届けました！

12月11日、全県の皆さんから寄せられた被爆者募金を片野憲二理事長、笠木隆事務局長が神奈川県原爆被災者の会事務所を訪れ、募金20万円を届けました。丸山会長は「本当にありがとうございます。貴重な募金は、核兵器禁止条約の早期発効のため、被爆者援護活動のために使わせていただきます。皆さんにくれぐれもよろしくお伝えてください」と感謝の言葉を述べられました。その後、丸山会長、木本副会長、東事務局長、入江事務局次長と、2019年の活動の展望などについて懇談を行いました。



被爆者募金を丸山会長に手渡す片野理事長

2019年3・1ピキニデー(2/27~3/1)
150人参加をめざし募集開始
被災65年3・1ピキニデーが、来年も開催されます。2020年を「核兵器廃絶の決定的な転換点の年」にするため、2019年の運動はとて重要です。ピキニデー・平和行進・原水爆禁止世界大会、そして署名運動・原爆展開催などの活動全体のスタートともなるピキニデーです。神奈川県から150名の参加を実現させ、飛躍の年の活動を全国に発信しましょう。すでに参加の申込みがあります。

西さがみの吉田さんひとりで集めた署名6,391筆

西さがみ原水協の吉田茂さんは、ヒバクシャ国際署名が呼びかけられてから住んでいる開成町をはじめ、西さがみ周辺の町でコツコツとひとりで集めた署名数が、12月現在、何と6,391筆になりました。この署名の持つ力もさることながら、吉田さんの根気と執念の活動に学びたいと思います。2019年は、第2、第3の吉田さんの誕生と全県津々浦々で草の根活動を飛躍させましょう

原子力空母ロナルド・レーガン、横須賀港に入港

12月5日午前11時11分、4ヶ月ぶりに原子力空母ロナルド・レーガンが横須賀港に入港しました。これで、今年の原子力艦船の入港は24回目、通算981



抗議に訪れた横須賀基地前で

回目となりました。県原水協をはじめ、県内の7つの諸団体が米海軍横須賀基地司令

官に「抗議文」を手交。抗議文では空母の入港の重大な4つの問題を指摘。

- ①日米一体で横須賀を戦争の出撃拠点し戦争する国に突き進むものである。
- ②原子力空母の入港・母港化は、首都圏3000万人を原子事故の危険にさらす。
- ③空母の入港は、艦載機の爆音被害、墜落と落下物・米兵犯罪被害にさらす。
- ④違法な空母の定期修理を行い、県民を放射能被害の危険にさらす。

こんなことを、私たちは絶対に許すことはできません。母港化撤回を！



米原子力空母ロナルド・レーガン